

## 概要書

# 「イタセンパラの勉強会」について

「イタセンパラ」は国の天然記念物で、絶滅の恐れのあるコイ科の淡水魚です。

日本では現在、淀川、木曽川、富山平野の3地域にしか生息しておらず、個体数が減少傾向にあるなか、密漁などの人為的な圧力等もあり、絶滅が危惧されています。

「木曽川水系イタセンパラ保護協議会」（地域の学識経験者や行政機関等で構成、概要下記）では、イタセンパラの生態などを地域の方々などにご理解いただき、連携した取り組みを進めていくことを目的として、毎年、「イタセンパラの勉強会」を開催しております。

第10回となる今年の勉強会では、環境省と木曽川水系イタセンパラ保護協議会長である岐阜協立大学の森誠一教授からイタセンパラ保護協議会でのこれまでの取組の話題や国土交通省から木曽川におけるイタセンパラの生息環境改善の話題についてお話しします。また、木曽川でイタセンパラの調査を行っている三重県総合博物館の北村淳一学芸員によるイタセンパラのお話や、イタセンパラの保護増殖に取り組んでいる世界淡水魚園水族館の池谷幸樹館長、岐阜大学の永山滋也研究員による新技術による今後のイタセンパラ保全、地元での取組みよる地域への浸透、今後の展開についてお話す予定です。

木曽川の宝である「イタセンパラ」を間近に見学し、勉強できる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

なお、参加にあたっては事前の申し込みが必要です。

参加者募集チラシ裏面の参加申込書により、応募してください。

## ＜ 木曽川水系イタセンパラ保護協議会（H22.3.9 設立、H30.3.5 改正）の概要 ＞

木曽川水系のイタセンパラ保護のため、学識経験者及び関係機関、地域住民が協働して密漁対策、希少種に関する啓発活動、希少種に関する環境教育、各主体による取り組みに係る意見交換などを進めることを目的に、下記の活動を行っております。

### 【活動内容】

- 1) イタセンパラの密漁対策
- 2) 希少種に関する啓発活動
- 3) 希少種に関する環境教育活動
- 4) イタセンパラの生息環境改善のための対策とそれに関する調査・計画の立案
- 5) イタセンパラの生息域外保全に関すること
- 6) イタセンパラの野生復帰に関すること
- 7) その他関連する事項

### 【構成機関】

有識者：伊藤 健吾（岐阜大学）、池谷 幸樹（世界淡水魚園水族館）、上原 一彦（大阪府立環境農林水産総合研究所）、北村 淳一（三重県総合博物館）、久保 禎子（一宮市 尾西歴史民俗資料館）、永山 滋也（岐阜大学 流域圏科学研究センター）、森 誠一（岐阜協立大学 地域創生研究所）、森 照貴（土木研究所 自然共生研究センター）、山崎 裕治（富山大学）

関係機関：文化庁記念物課、愛知県（自然環境課、生涯学習課）、愛知県警察本部 生活経済課、岐阜県（環境企画課、文化伝承課、水産研究所）、岐阜県警察本部生活環境課、一宮市博物館、羽島市生涯学習課、碧南市碧南海浜水族館、名古屋市東山動物園、世界淡水魚園水族館

事務局：環境省中部地方環境事務所野生生物課、国土交通省中部地方整備局河川部、国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所